



# かえでゆうびん 2月号



2023年2月1日  
社会福祉法人 清松学園  
幼保連携型認定こども園  
かえで保育園  
園長 引地 美津代

数年ぶりに関西にも雪が降りました。何年か前に寒波が到来した時は、園庭のピオトープが氷河のように氷りつき、園庭全て凍り付いた朝を体験しました。その時の子どもたちは、何の躊躇もなく裸足で園庭に駆け出し、手や顔を真っ赤にしながら分厚い氷に顔を付けたり覗いたり・・・全身で寒い朝を楽しんでいました。あれから数年・・・久しぶりの大雪情報に水道管の凍結防止の準備と共にたらいやバケツに凍るよう水の準備し、明日は雪だるまも作れるとワクワクしながら一日を終えました。夕方あたりからどんどん気温が下がり期待しましたが、翌日、西宮の空に雪雲は滞在せず、少しの雪で終わってしまいました。

木曜日、ちらちら舞う雪に少し期待もしましたが、すぐやんでしまい、また降ってこないかと空にとらめっこしていました。が期待の雪にはなりませんでしたがみぞれ交じりの雪が・・・「皆さん・外を見て～。またまた雪が降ってきましたよ～みんなで雪を感じませんか？」と誘うとワイワイと集まってきました。「雪の精」はあまり力は発揮してくれませんでした、前日に張っていた氷や、雪の塊をビニールに集め雪玉づくりが始まりその様子を見て乳児の子どもたちも一緒に園庭に出て楽しめました。

3月のお水取りまでは「三寒四温」を繰り返し、寒さや陽だまりの温かさを肌で感じながらゆっくり春を迎えたいですね。

1月中旬には、感染症のまん延を抑えるためのクラス休園では、皆様にはご心配をおかけしました。ご理解・ご協力ありがとうございました。園内消毒と、ロッカーの点検や環境の見直しをしながら、職員間で3学期の保育をどのように進めていくか全体で話し合いました。

コロナ禍でなかなか人との距離が縮まらない生活環境を何とか人が育つ心地の良い環境を提案できるよう、0・1・2歳児は室内環境を見直し、幼児クラスは進級することを喜びながら今を大切に過ごし、様々な面で興味関心が深まるよう遊びの空間を考え直しました。また、子どもたちが楽しめる「アートコーナー」を一から見直し整理しました。

2022年度の総仕上げとして子どもたちが「かえででの生活」を満喫している様子ももっと保護者の方に伝えていけるよう「保育の見える化」をしていきます。



2月から保育室の入り口に子どもたちや先生と話し合った「やりたいこと」「思うこと」などをウェブ式に紹介し、出来事を写真で記録しながら保育園でのお子様の様子をもっと身近に感じてもらえるよう取り組んでいます。「ウェブ」をご覧になっていただきお子様の成長がもっと伝えていけるよう進めていきます。

送迎の際には各保育室の入り口をご覧ください。

## お知らせ

- ・神戸元町こども専門学校より実習生1名を受け入れします。
- ・休日の緊急時は080-9500-1997(園長携帯)にお願いします。但し、すぐ出られない場合もありますので、ご理解ください。

## おねがい

- ・**値上げについて**  
**様々な物の値上げに伴い、食材・保育備品・レンタル料が値上げとなります。できる限りコストダウンできるよう交渉をしていますが、新学期用品・新学期給食代・おむつ・布団レンタル料が変更となります。詳細は分かり次第お知らせします。**

## 2月の予定

- ・1月より変更⇒ 3日(金) ひかり・だいぢ 雪遊び
- ・15日(水) おもちつき
- ・18日(土) 新入園児健診・説明会
- ・23日(水) 誕生日会
- ・7・20日(火・月) 絵画
- ・2・9・16日(木) 体操
- ・0・1歳児(めばえ・ふたば)の夕方訪問ウイーク(個別訪問)を行います。(2/1・2・9・10)
- ・28日(火) 小学校・つながり交流会・・・だいちのみ学校訪問に行きます。

## 3月の予定

- ・11日(土) 卒園式  
\*全クラス家庭保育のご協力をお願いします
- ・15日(水) 全クラス お弁当日  
\*幼児クラスはお別れ遠足に出かけます
- ・25日(土) 2023年度新年度準備と職員会議  
\*16時までの保育にご協力ください。  
就労の方のみの保育となります。

## 4月の予定

- ・1日(土) 入園式  
\*就労の方のみの保育となります。

1995年1月17日5時46分阪神淡路大震災が起こりました。2週間後に結婚式を控え前日荷出しも完了し、母と同じ寝室で寝ていました。地震が起きた瞬間、私の頭には仏壇が被さり、足元には2台のタンスが壁に向かって斜めに倒れ、その隙間にいた私と母は奇跡的に大した怪我もなく、その場から這い出しました。それから28年間その日を忘れることはできず、時が過ぎていってもその日、母とした会話や外に出た時の空気を記憶しています。当時は携帯電話もなく、停電のため電話も通じなかったため連絡すべもなく、ただただ時間だけが過ぎていきました。二度と経験したくないことですが経験したからこそ伝えたいこともあります。災害が起こった時の家族の待ち合わせ場所(例えば地域の避難場所として指定されている小学校)やそこへ行くための経路など決めておくことが大切です。今一度もしもの時を考え家族で話し合ってみてください。

かえで保育園では災害や避難訓練のマニュアルを園独自で作り、定期的に園全体で見直し職員一人ひとりが対応できるようにしています。予期しないことが起きた時のために、園内で安心安全に過ごすことができるよう危機管理を徹底し「命を守る」ことができるよう努めていきたいと思えます。

主幹保育教諭 藤森 寿美

数年前にかえで保育園でも雪に触れ、子どもたちが大喜び。今年も西宮に雪が降りました。沢山積もる地域の方にとっては大変ですが、かえで保育園の子どもたちは降る雪に気が付くと、窓にぴったりとくっついて外を眺めていました。人生での“初雪”を経験した子どもたちの目には、どのように映っているのでしょうか。

天気の良いある日のこと、園庭でバケツを持ちながら忙しそうにTくんが「これあげる」バケツの中から三つ葉のクローバーを取り出すと「やっぱり大きいのにするね」と厳選したクローバーをプレゼントしてくれました。「ありがとう、大切にするね」この想いのこもったクローバーをどうしたものか、2つの選択肢が浮かび悩みました。

ガラス瓶に水を入れてきれいに飾っておくか、長い間大切にできるように押し葉にする。悩んだ末、本に挟んで押し葉にしました。すると夕方のお迎えの時間、期待に胸を膨らませた表情で「はっばどこにかざってるー?!」とTくんが事務所を訪れたのです。その瞬間、花瓶に飾っているクローバーを見て「これ、ぼくが見つけたんだよ」と嬉しそうに笑うTくんの笑顔が思い浮かびました。子どもたちとの関わりの中で“こうした方がよかったかな”と振り返ることも度々ありますが、正解がないからこそ子どもたちと過ごす毎日は愉快で、日々の何気ないやりとりを大切にしたいと感じます。今度は、Tくんの想いも思い出もぎゅっと詰め込んだクローバーの押し葉を、どのように活かしていこうかと、作戦を練っているところです。

主幹保育教諭 河本彩奈

# 今月の子どもたちのようす

1月のかえでの様子をご紹介します。



ままごとやお世話コーナーを新しく設置しました。レンゲで掬った具材を口に近づけておいしそうに口をもぐもぐさせる子どもたち。保育者にもどうぞと、具材が沢山入ったお皿やレンゲをととても嬉しそうに運んで来てくれます。



おかめとひよっとこの顔に目や鼻のパーツを思い思いに乗せました。完成した顔はそれぞれ特徴的で、子ども同士でも顔を見合わせ大笑い。繰り返して遊んで色んな表情を作っていました。



園庭で凧作りをしました。完成したオリジナルの凧を持って園庭中を走り回り、凧あげを楽しみました。



園庭では年上の子どもたちの遊びを真似する姿が多く見られるようになりました。築山を走って登るお兄さんたちの後を追いかけて、前回りするお姉さんを見て、鉄棒をしっかり握ってぶら下がったりして遊んでいます。色々なことができるようになり、これからどんな遊びが増えていくのか楽しみです。



お正月遊びとして、凧揚げやコマまわしを体験しました。風の強い日にはつぼみ横のテラスで膨らむ凧に大はしゃぎ！「きょうたこもって(園庭に)いこうね！」「いいよ！」とお友だち同士で声を掛け合い、勢いよく走り出していました。お部屋では、「こ～まをまわしてあそびましょ～♪」とお正月の歌を口ずさみながら楽しむ姿も見られました。



先月から盛り上がっている積み木遊びでは、虹に加え、クリスマスプレゼントでもらった通称とんがり帽子(円錐)とドーナツ(輪っか)が仲間入りしました。誕生日ケーキやお城、お山などさらに子どもたちの発想が広がり、おもしろい積み木の世界が次々と生まれています。



ままごとコーナーでは、「いらっしゃいませ～！」と元気な声が聞こえています。メニューをもってご飯屋さんになってみたり、ケーキを並べてケーキ屋さんになったり…「どれがいいですか？」「いまうりきれでーす」「おかわりあります」「はーい、おかねください」「ぺいぺいで！」と今だからこそ出てくる会話ややり取りが繰り返されています。大人がおっ？と思う時にも子どもたち同士では伝わりあっていることも多く、毎日どのような会話が聞けるのか楽しみにしています。





1月はお正月ならではの遊びを楽しみました。コマ回しでは誰が最後まで回し続けられるかを競い合ったり、凧あげを手作りしてテラスで風を感じながら飛ばすことを楽しんでいました。けん玉では集中して何度も挑戦し、玉を乗せることができたときには素敵な笑顔を見せてくれました。

子ども達に人気なお店屋さんごっこ。店員さんになりきってお客さん役の友達と「いらっしゃいませ〜」「どれにしますか」と会話のやり取りを楽しんでいます。最近ではドーナツ屋さんやパン屋さんで盛り上がり、紙粘土でパンを手作りして楽しんでいます。



気温がぐっと下がる日には葉っぱや毛糸を入れてめいめいに氷づくりをしました。翌日、冷たいのを我慢しながら氷コレクションのように集めていました。薄く張った氷を眺めたり、水が凍る不思議に、「次はこれを凍らせてみよう」「水に色をつけてみたい」とやりたいことがどんどん出てきました。

寒波・大雪予報で雪遊びができる！と期待しましたが、園庭にうっすら雪・・・雪遊びはできませんでしたが氷遊びを満喫できたようです。

翌日のみぞれ雪では「寒〜い。」と言いながらも外に出ると降ってくる「みぞれ雪」に寒さも忘れて雪集めが始まりました。大きな袋を二人でもって息を合わせて袋を振ると袋の中で雪が集まりどんどん雪の固まりができました。雪を集めることに夢中になり、冷たくなった手足をこすりながら「もっと寒さを感じたい！」と言い合っていました。

つかの間の雪でしたが雪集めを十分に楽しめたようです。



歌う事が大好きな子どもたち。元気いっぱい歌う子どもたちの歌声がランチルームでご飯を食べている子どもたちにまで届きます。

「ありがとうの花」をはじめ弾いた時「なんだか泣きそうになった」「優しい曲」と子どもたちが歌から感じたことを伝えてくれました。今まで歌ってきた歌の中で「ありがとうの花」は、ほかの遊びをしながらでも口ずさんでしまうことも。「もうすぐ小学校に行く」という意識がそうさせているのかもしれませんがとっても素敵な歌詞とメロディーに心が感じてくれているようです。これから心を込めて歌いこんでだいちみんなが歌う「大切な歌」にしていきたいです。



砂場は子ども達にとって楽しい！が溢れる人気の遊び場です。先日、スコップでバケツいっぱい砂を入れようとしている子どもに何をしているの？と尋ねると、「きりんさんのえさをつくっているんだ」と教えてくれました。すると、隣にいたお友達が「きりんさんのあかちゃんのえさもつくってあげないとね」と言って、どんどんイメージが広がっていきます。子ども達は時に大人には思いつかないような遊びを教えてください。改めて子どもは遊びを見つける天才だと感じました。

「大縄跳びするよ」「縄とび回して」と保育者へ声を掛けていたのが、今では子ども同士で声を掛け合いながら縄を結び、回し始めています。以前までは跳ぶ方を楽しんでいた子も「縄を回せるようになりたい」と大きく腕を回したり、縄との距離を前後で調整したりと工夫しながら“やってみたい、楽しそう”の気持ちから繰り返し挑戦しています。回せるようになると「先生も入って」と跳ぶ子と回す子が向かい合いながら笑い合う姿がとても微笑ましいです。今は友だちと一緒に跳べるようになるにはどうするか…子ども達で集まり『大縄作戦』の話し合いが始まっています。



園庭から室内に入る際、2グループに分かれてリレーをすることになりました。今まではだいち組と混ぜてしていましたが、今回はひかり組だけです。「〇〇くん、走るの早いから一番前ね」「最後は誰がする？」と子ども達で集まり、グループ分けからどの順番で走るか話し合います。各グループの話がまとまり、リレーが始まると「はやく！はやく！」「次行って！」と声援が上がり接戦が続きます。勝ち負けが決まると「ご飯食べに行こう！」と気持ちを切り替えて部屋に戻る中、負けたグループの1人の子が「悔しい…」と涙を流しながら呟きます。「悔しいんだよね…」「どうやったら早くなるかな…」と作戦会議が始まりそれぞれの思いとアイディアを出し合います。「じゃあ次はその作戦で行こう！」と泣いていた子も友だちに連れられながら部屋に戻りました。これからの話し合いからどのように関係が深まっていくのか、見守っていきたいです。

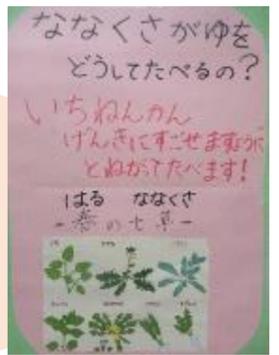




けん玉やこま等お正月遊びを楽しんでいます。けん玉やこまは、お皿にのせたり、回ったりするのにコツがいるため、挑戦を繰り返しています。何度も頑張っている表情は真剣できらっとしています。こまの台は、ダンディタイムで作っていただきました。台には、保護者からの応援メッセージが書かれてあり、「自分とのたたかい」を頑張っている友だちがたくさんいます。



## お台所から



1月6日

この日のメニューはおせち料理風のお昼ごはん、おやつでは七草粥を食べました。手作りふりかけも一緒に出したことで食べやすく、おかわりをしてくれる子もいました。また七草を展示したり、「どうして七草粥を食べるのか」というお知らせを展示したので、少しでも身近に感じてくれたら嬉しいです。子どもの中には七草を全て覚えている子や、「朝に七草粥食べてきたよ！」と教えてくれる子もいました。子どもたちが今年も元気に過ごせるようこれからも心を込めてごはんを作っていきます。



園庭の静かなところをふと覗いてみると、異年齢の友達と一緒に過ごしている姿があります。「〇〇ちゃんが見つけた石きれいでしょ」「みせて」などやり取りを楽しんだり、一緒に探し物をして遊んだり2人だけの時間が流れていました。



1月10日

コロナ禍でお昼ごはんのバイキングができなくなってから3年になります。以前のように戻していく機会としておやつバイキングから始めました。個包装の市販菓子を数種類用意し、子どもが何を食いたいかわき、保育者がそれぞれのお皿に配膳しました。じっとおやつを見比べ何にするか真剣に悩んでいた子も、すぐに決めている子もいました。衛生管理には十分に配慮しながら、子どもが自ら選択する喜びや経験を大切に今月はもう少し機会を増やしていきます。



とても寒くなる前の日に、「氷作ったらできるかな？」と氷の書いてある図鑑を開いて、氷作りをしました。1月25日の朝の保育園は築山にうっすらと雪があるのと、前日つくった氷が出来ていて「つめたいけどさわりたい!」「桶の中も氷できているよ」など園庭でたくさんの氷、雪を発見していました。日中に降った日には、雪の園庭を散策して冬の自然を味わいました。



1月11日

今年の「鏡開きの日」にはおやつにぜんざいを食べました。いつもは白玉粉でおもちをひとつひとつ丸めているのですが、今回は四角のおもちを半分にして出しました。小豆からコトコト煮込んで、白くてほっこりとしたぜんざいに仕上がりました。小豆が苦手な子も「美味しかった!」と好評でした。乳児クラスは米で作ったきなこおはぎを食べました。



### ～2月の献立・予定している食育活動～

まだまだ寒い日が続きますので、冷えた身体が温まる「コーンスープ」や「シチュー」、先月に引き続き白鹿の酒粕を使用した「かす汁」をメニューに入れました。また2月の「節分」には「きんば」作りに挑戦します。食育活動は、冬に美味しい野菜である白菜、ブロッコリーをめくったりはずしたりして、子どもたちに野菜を身近に感じてもらえるよう、メニューに取り入れていきます。



## 先生たちのメッセージ

先日とあるカフェでモーニングをしました。ドリンクのみの金額だけでトーストやゆで卵がついてくるシステムに非常に驚きました。ここ最近は行けていませんが岐阜に住む祖母に会いに行った学生時代、朝から近所の喫茶店にみんなで朝食を食べに行った記憶があります。ここでの朝食のボリュームは今でも忘れません。母曰く、いかにたくさんのおまけが付けられるかを喫茶店同士で争っているそうで、それを聞いた時とてもおもしろいなと思いました。朝からお店に向かいモーニングを食べに行く習慣がなかったのでとても新鮮に思えました。最近では“朝活”という言葉があるほどで、早起きしてモーニングのはしごをしたいなと密かに思っています。保育園でも子どもたちと話していると、「朝〇〇食べてきた!」「先生はパンとごはんどっち食べたの?」とお話していて、朝ごはんをしっかり食べて登園してくれる子がたくさんいて安心しました。「朝ごはん」は1日の始まりに大切なエネルギーです。元気いっぱいの子どもたちですが、午後からもたくさん遊んで過ごせるよう、栄養満点のお昼ごはん作りをもっと工夫して作っていきます。

廣田 恵

皆さんは、どのような子育てを意識されていますか？

私には、高校生と中学生の子どもがいます。上の子どもは、第一子ということもあり、少し過保護に育ててしまったせいか、頑固で気難しい所がありますが、子どもが好きなアイドルの話をする時は話が弾み、幼い頃を思い出すような表情で笑っています。下の子どもは、末っ子で甘え上手、お調子者で母の性格をよく理解し、時々オリジナルレシピの料理を家族に振舞ってくれます。

私が子育ての中で一番大切にしていることは、家族間でのコミュニケーションです。挨拶やありがとう・ごめんね・いただきます・いってらっしゃい・大丈夫?など沢山の言葉を掛けて育ててきました。その中でも、「ありがとう」と「ごめんねは」必ず言おうねと伝えています。思春期で難しくなってきたと感じる時もありますが、「今日、学校どうだった?」「持久走タイムどうだった?」「給食は美味しかった?」「ママはね…」というような会話をしています。学校生活の中で、友人関係が大変そうだと感じた時は、いつもより丁寧に話を聞いたり、共感したり、アドバイスしたり、親として発言することもあれば、友人のような気持ちで話したり、その場によって変化させています。沢山コミュニケーションを取ることで、子どもの小さな変化に気付きます。また、時には寄り添ったり、時には少し離れて見守ったりする事で、子ども自身が悩み事にも負けず、乗り越えながら人生を楽しんでほしいと思います。

私もこれから育児の経験を活かしながら、子どもの気持ちに寄り添いながら、より丁寧に保育していきたいと思っています。

柴原 ちはる



## 保護者からのエピソード

娘が「ようさんとじゅりちゃんはいつもケンカばかり!」と保育園で言っているようですが、この場をお借りして訂正させていただきます。

ひかり組 ようじさん

成長が早く、次から次へと言葉が出てきて親が負けてしまう程です。家に帰ってくると、今日は外で遊んだとか、友だちは誰が来たとか、お話をしてくれるので毎日それを聞くのが楽しみです。

いぶき組 なつこさん

下の子がつぼみの後半に入り、さらに仲良くなったきょうだい。

だいちのお姉ちゃんの遊びに対応できるようになった下の子を見て、またお姉ちゃんも年長さんとして立派にいろいろなことに取り組む姿をみて、とても成長を感じる日々です。お姉ちゃんは残りの園生活は2月…。思っきり楽しんで欲しいと願うばかりです。

つぼみ・だいち組 まちこさん

朝、登園の準備をしている時から泣き出すこともあります。お迎えに行くと、とびっきりの笑顔で遊んでいる姿にほっとしています。これから話せるようになって、その日にあったことを子どものことばで聞けるようになることを楽しみにしています。

めばえ組 なつみさん

朝は少しでも早く迎えに来て欲しいと、気持ちを伝えてくれる我が子です。なので、いつもより少しだけ早く仕事を切り上げ、いつもより少しだけ早く迎えに行くと「早すぎー」と歓迎してくれます。楽しく遊んでいるよう何よりです。

いぶき組 たつやさん



## あそびへの思い

### めばえ

年末年始の休み明けには子どもたちの成長した姿を見る事が出来ました。たった一週間の短い間でしたが、出来ることが増え話す言葉も増えており、おうちの方と楽しく過ごせたのだなと感じました。1月は気温や体調に合わせて園庭に出て身体を動かして遊んだり、寒い日にはランチルームで体操をしたり、室内でも身体をたくさん動かして遊びました。また先月は綿やお花紙を使って感触遊びを楽しみました。今月も子どもたちと絵の具やスポンジなどの感触遊びを行い、保育者も一緒に楽しみたいと思います。そして、帽子や靴も自らやってみたいと取り組む姿を大切に见守ったり、やってみようと思えるきっかけ作りを大切にしながら毎日の保育を行っていきたいと思います。

宝田聖美 小坂橋円香 峰夏音

### ふたば

日本に伝わる様々な正月の遊びを園生活の中でたくさん経験して欲しいと思い、凧あげや福笑いなどを楽しみました。みんなでペンを使ってお絵かきをしたりシール貼りをして完成した凧を手に持ち、よーいどんと走りますが、なかなか上手くあがらず…。それでもみんなで走ることが楽しくて何度も凧あげに挑戦して遊びました。築山から勢いよく走ると凧が風に乗ってふわりと上がり、その様子を友だちと一緒に楽しんでいました。福笑いは室内で毎日のように楽しみ、面白い顔がたくさんできました。作っている様子で完成した顔をふたば組の部屋に飾っているのでぜひ見て見て下さい。

また、幼児クラスのお兄さんお姉さんが凧あげをしている様子を見て一緒に走ったり、「なにしてるの」と興味を持ち自分から関わろうとする姿が増えてきました。ふたば組で過ごす残りの2ヶ月、つぼみ組の部屋に遊びに行き進級に向けて期待を持って過ごせるように、そしてクラスの友だちだけでなく異年齢での関りも大切に见守っていきたいです。

福井真裕子 尾崎美緒 西田汐里菜

### つぼみ

つぼみ組として過ごすのもあと2ヶ月となりました。小さな歩幅で階段をやっとの思いで登っていた4月から比べると、身体も心も大きくなってきました。最近では「もうすぐようじさん」という言葉も聞こえる様になり、自分で靴や身の周りの用意をしたり、一人で着脱に取り組んだり色々な事にも挑戦しています。

また遊びの中では友だち同士での関わりが増え、一緒に楽しむだけでなく悲しさや寂しさに共感して寄り添う子どもたちの姿が見られるようになってきました。泣いている友だちがいて、顔を覗き込んで「どうしたの?」「だいじょうぶ?」と、友だちの言葉を聞いてあげようとしています。その中で、子ども達同士での言葉でのやり取りが増え、通じ合う喜びや伝わらないもどかしさも体験しています。喜びも難しさも大切に、これからも子ども達の心に寄り添いながら傍で見守っていきたいと思います。

立田瑛怜菜 小寺涼香 近藤幸音

### いぶき

新年が明けてからあっという間に1ヶ月が経ちました。2月といえば「節分」を思い浮かべる方が多いと思います。先月の絵画では「赤鬼と青鬼のタンゴ」の歌に登場する鬼のお面作りをしました。去年はお兄さんお姉さんのお面をつけた姿を見て泣いている子もいましたが、いぶき組になって自分達で作って楽しみました。お互いに鬼のお面をつけた姿を見て、笑顔になる子ども達にほっこりしました。これからも絵画遊びを通して表現する楽しさを感じて欲しいです。

小城美紗

### ひかり

「だいちさんになったら、どんなことする?」と嬉しそうに話しています。憧れのだいち組に近づこうと、サッカーやけん玉、コマ回し、編み物等、よく観察して挑戦したり自分からやってみたいと思う気持ちもでてきました。何でもやってみようとする中でも時々「先生、ぎゅっとして」と“心の安心”を求めることもあります。これから大きく成長している過程で、友だちと関わりを深める時間も、一人ひとりの傍にいてほしい気持ちも大切に過ごしていきたいです。

日笠加菜

### だいち

「1ねん1くみの1にち」という本を見ている子どもも多く小学生になることに期待を抱き過ごすようになりました。“小学校ってどんなところなんだろう”“どんなことができるんだろう”と話をしました。そこで、小学生のお兄さん・お姉さんに聞いてみよう!と兄弟がいる友だちにお願いをしました。好きな授業・給食・楽しいことなどを聞き、ひみつの時間にみんなで共有しました。「給食で好きなのはきなこパンだって」「授業では歌うのが好きなんだって」と自分が小学生になった姿を想像しながら、話がつきませんでした。小学校への期待と共に保育園を離れることが悲しいという子どももいます。理由を尋ねると「保育園が大好きだから」「ずっと見てくれていた先生と離れるから」と教えてくれました。そこで子ども達と残りの2ヶ月をどう過ごすか考えました。大好きなかえで保育園でたくさん遊ぶ・物を大切に使う・友だちや先生達にありがとうを伝えるなど素敵な意見が出ました。その気持ちを大切に日々過ごしていきたいと思います。そして、小学校に行っても周りの人の存在に気付いて、ありがとうの気持ちがあふれる人に成長して行ってほしいと思います。

松岡桃花

### はまかせ

先月から手回しコマを子どもたち同士で、「長く回った人が勝ち」や、「チーム戦でしょう」などルールを出し合って楽しんでいました。今月もコマのコーナーに異年齢の友だちが集まっています。紐で回すコマに挑戦しようと、何度も紐をくるくると掛ける姿、コマが早く回転している様子を面白そうに見ている姿、「紐コマ回せるのすごい!」と友だちに伝える姿など多くの場面に出会います。同じ遊びの空間で一緒にいる雰囲気は温かくも活気にあふれているのを感じます。まだまだ寒さは厳しい日々ですが、子ども同士の温かな雰囲気は寒さよりも温かさに溢れる日々を過ごしていきます。

坂本春佳 星加由美子